



南ぬ風

一般財団法人 沖縄美ら島財団 広報誌

Vol.35
2015.4~6
春号

美ら島 ワクワク工作室

身近な素材を使ったクラフトや工作、昔ながらの手作りおもちゃなどを紹介します。

今回は、
水鳥を作ってみよう!

小石のクラフト

材料

- ・小石(大小様々なもの)
- ・接着用ボンド(グルーガンでも代用可)
- ・地塗り用ジェッソ(白)
※アクリル絵具(白)でも代用可
- ・アクリル絵具
- ・筆

作り方



① 小石を準備する。



② いろいろ試して組み合わせを決める。



③ 組み合わせ方を決めたら、ボンドやグルーガンで接着する。



④ 下地としてジェッソを薄めずに原液のまま塗る。



⑤ 全体に塗って乾燥させる。更に重ね塗りしてムラをなくす。



⑥ 乾いたら、アクリル絵具で絵付けしていく。(水性エナメルでも可能)



⑦ 仕上げにニスを吹きかけて、光沢を出してもいい。



他にも、
いろいろな
海の生き物を作って
楽しもう!

見本制作者:西平守孝

沖縄美ら島財団の工作教室に参加してみませんか?

当財団では主にお子様を対象として「美ら島・美ら海こども工作室」や「クラフト作り」等を開催しています。
参加ご希望の方は下記ホームページでイベント情報をチェックしてみてください。

美ら島研究センター
<http://churashima.okinawa/ocrc/>

沖縄県立 名護青少年の家
<http://www.opnyc.jp/>

海洋博公園
<http://oki-park.jp/kaiyohaku/>

一般財団法人 沖縄美ら島財団 広報誌

季刊誌 南ぬ風 春号 vol.35
2015. 4~6

企画・編集・発行 一般財団法人 沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation 〒905-0206 沖縄県国頭郡本部町字石川1888
TEL.0980-48-3645 FAX.0980-48-3900
制作・印刷/株式会社 東洋企画印刷 〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町4-21-5 TEL.098-995-4444

2015年4月発行



首里城オリジナルクリアファイルと海洋博公園オリジナルタンブラー。

※スターコンパス…
羅針盤やGPSもない時代、太平洋地域の航海師たちは夜の航海で重要なカギとなる星々が昇る方向や沈む方向を学べるスターコンパスを用いて航海術を次世代へと伝えてきた。(海洋文化館にて展示中)



イラストレーター／アーティスト

POKKE104

ぽっけいちまるよん

文いのうえち

海洋博公園を盛り上げてくれる人気アーティスト
個性的なスタイルで、広告媒体や壁画、ライブペイント、様々なグッズなど、カタチにとられない表現活動をしてる pokke104 さん。
「アート×コミュニケーション」をテーマに、ワークショップを国内外で多数展開している。沖縄美ら島財団との縁も深く、海洋博公園内ショップのステンドグラスや壁画、オリジナルグッズの開発などに携わる。

作品の背景にあるのは、沖縄を愛する気持ち。

— pokkeさんと沖縄美ら島財団とのお付き合いは、ずいぶん長いんですね。

首里城オリジナルのタンブラーやクリアファイルが最初のお仕事でした。沖縄美ら水族館の開館10周年記念グッズや、2013年のAPOC11(アジア太平洋蘭会議・蘭展)も思い出に残っています。
— イラストを描かれる時は職員の方々に取材されるそうですね。

はい、職員の方にいろんなお話をお聞きしてそれをイラストに反映させます。APOC11だったら沖縄の絶滅危惧植物の蘭を描いたり、夜蛾がお花のおいにつられて来ている場面も描きました。

— 生態に基づいて描くんですね。専門分野のお話を職員の方から聞くのは楽しいし、勉強になります。海洋博公園全国トリムマラソンは、31回から参加賞のタオルをデザインして6年目になります。第36回の今年は、私も6キロコースを走ったんですよ。

今回のタオルのテーマは海洋文化館。海洋文化館のオリジナル映像が大好きで、いろんな地域のカラーを入れたという思いからデ



毎年人気のトリムマラソン参加賞タオル。沖縄美ら島財団の職員から専門的な話を聞きながら物語を想像し描く。

ザインを考え始めました。昔の人にとって船は宇宙船のような存在ですよ。*スターコンパスや波のうねり、トビウオなど海の生き物の様子、鳥の飛ぶ方向、木の実などの浮遊物から自然を読む伝統的航海術を身につけて海を旅してきました。そんな物語をタオルのデザインにも込めたんです。

— 海洋文化館への愛を感じますね、ありがとうございます。

沖縄の海人のコーナーは、沖縄の人たちが、生きるために海の恵みを得るのようになっています。知らないかを学べるのがいいですね。知らなかった沖縄に出会えた感覚です。イベントを含めてもっといろんな人に海洋文化館のことを知ってほしいです。

— そういえば pokkeさんの作品はイルカもよく見かけますね。

実はフジをちょこちょこ描いているんですよ。しっぽを見たらすぐわかりますから、今度、オキちゃんショップに行ったらチェックしてみてください(笑)。イルカラグーンから、フジが亡くなったと聞いた時はとても残念でした。ご冥福をお祈りします。



「やんばるの杜」のステンドグラス。楽しい仕掛けも来場時にご確認ください。

— ありがとうございます。ショップ「やんばるの杜」のステンドグラスも大好評です。
自動ドアが開くと、ヤンバルクイナの背中に蝶がとまったりとか、小さな仕掛けもあるんですよ。海洋博公園には、私が参加したいワークショップやイベントがいっぱいあります。夜の植物ツアーも面白そう。ぜひやってほしいです。
— pokkeさんもワークショップをされていますよね。
そうですね、今後は地域の方と一緒に、動植物の生態や環境問題などを学べるワークショップをやりたいですね。

contents

美ら島をつなぐ人	02	御城物語	09
沖縄のこころ	04	運営管理	10
美ら島生き物日記	05	スポットライトの向こう側	12
調査研究	06	沖縄の大木	13
首里工芸品	07	財団いんふお	14
普及啓発	08	美ら島ワクワク工作室	裏表紙

作品タイトル「日高き緑ゆるる中、子ヤギ鳴く」
春が訪れ、新芽が出る時期に合わせて新たな命がまたひとつ。沖縄の文化にとけ込むヤギをモチーフに、命の誕生を描いた作品。



表紙イラストについて
与儀 勝之 Masayuki Yogi
琉球イラストレーション作家 那覇市生まれ。

誌名「南ぬ風(ふえぬかじ)」とは…
南ぬ風は、梅雨明けとともに南から吹き込んでくる強い風のことで。この南の風によって育まれてきた沖縄の自然や文化をさらに「南ぬ風」に載せ全国に発信していきたいと思っています。



美ら島 生き物日記

Vol.9

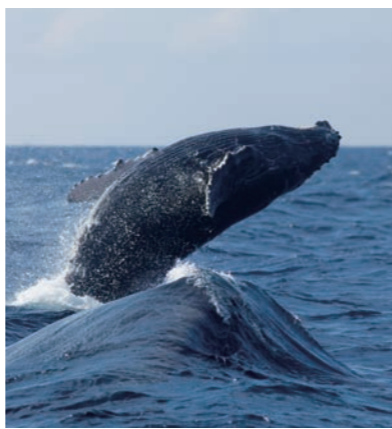
やんばるの海に集うザトウクジラ



写真・文
白鳥岳朋 (しらとりたけとも)

東京生まれ、沖縄在住の水中&陸上 全天候型カメラマン。
1988年から水中撮影を開始。
主な著書・写真集に『おさかな接近術』(阪急コミュニケーションズ)、
『水中を撮る!』(雷鳥社)など。

冬から春にかけての沖縄の海では、クジラたちが意外と身近にいる。ロシアなどの冷たい海から暖かい沖縄の海にやってきて繁殖や子育てを行うからだ。時おり見晴らしの良い岸辺からもその姿を見ることができる。



「クジラは海にいますよ。東京から来られた? ご苦労なことだねえ」
もう20年余り前の話になるが、ザトウクジラの撮影で沖縄の慶良間諸島に行った時、地元のおバアにそう言われたことがある。海にクジラがいるのは当たり前で、わざわざ遠方から来るような話でもないというような口ぶりだった。
2014年の4月上旬、シーズン終わりに3日間ボートをチャーターしてやんばるの海に出た。出産と繁殖のために集まったザトウクジラ達も、既に北の海を目指したものが多く、その頭数は少なくなっていたが、とても教育熱心な母子に出会うことができた。
何度も何度もブリーチを繰り返す子クジラは、ただその様子を見ているだけでも楽しかった。しかしすぐに、母クジラがピツタリと寄り添っていることに気づき微笑ましくなった。恐らく最初は母クジラがジャンプを指導し、その後はその出来を見守り、子クジラが餌の多い北の海へと長い旅をする体力がついたかを見極めているのではないだろうか。
学術的な確認はしていないが、観察を続けてきたことで、そんな想像ができるようになったことが楽しい。今年も、ザトウクジラを見に行こう。それが理解の入口なのだから。

志堅原の醜童は、中国の妻人をもてなす
宮廷芸能・御冠船踊りの流れを汲む伝統芸能だ。
写真・仮面をかぶっているのが「ヤナカーギー」。

沖縄の こころ

Vol.9

地域の伝統・文化を支える人たち

文=いのうえちず



志堅原の醜童

南城市玉城志堅原に伝わる「醜童」。チュラカーギー(美女)役の女性2人とヤナカーギー(不美人)役の男性2人の計4人が登場し、チュラカーギーの流麗な動きを見て、ヤナカーギーが真似をしようとするもののコミカルな動きになつてしまふという、踊りの掛け合いで観客を笑わせる。特に志堅原に伝わる振り付けは、ヤナカーギーが中腰になつて踊る、独特なものだ。「ヤナカーギーは七曲りと言つて、体の節という節を全部曲げるぐらいの姿勢になります。これが相当キツい。沖縄では昔から各村で、若者が力石と呼ばれる石を持ち上げて体力を競つていましたが、志堅原では若者が筋力の強さを競うのに醜童を踊つたと言われるんですよ。毎年、地域の敬老会で披露しますが、ヤナカーギー役の男性は、約2カ月前から筋力をつける練習をして備えるほどなんです」
とは、志堅原伝統芸能保存会の大城豊年さん。伝承によると志堅原に醜童を伝えたのは比嘉加那という男性。琉球王国時代、志堅原の人々は首里の志堅原殿内(志堅原の領主宅)へ持ち回りで何カ月か奉公に行くことが義務付けられ、領主宅や首里城で下働きをしたという。加那が首里にいた時、冊封



チュラカーギーは志堅原在住の美女が演じる役どころ。地謡は2~4人の編成で演奏をする。

【写真提供】南城市教育委員会

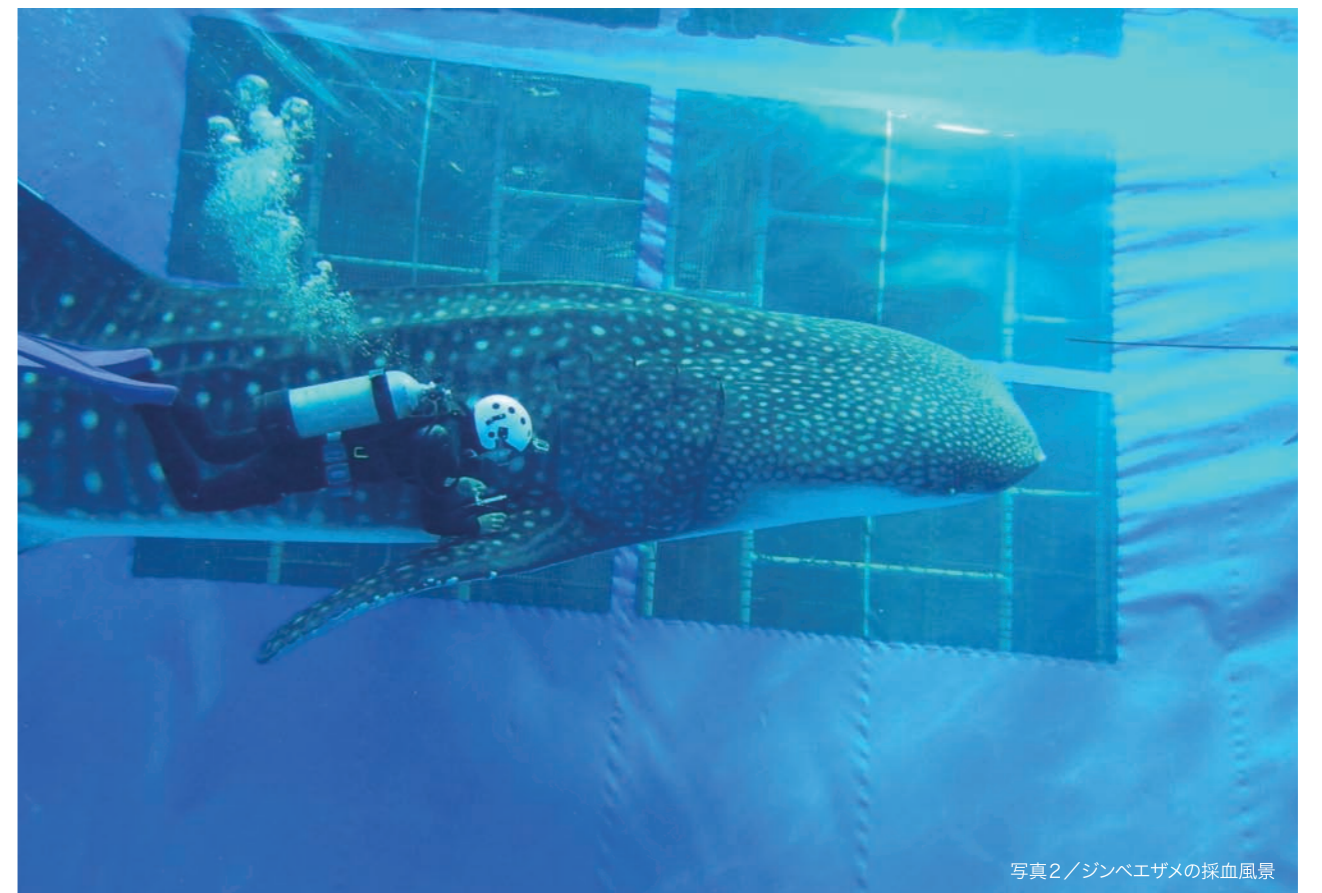
使が来琉し、首里城では華やかな宴が開かれた。舞台上で静かな演目が続いた際、冊封使らは居眠りをしたという。そこで眠気覚ましを兼ねて、滑稽な踊りが披露された。加那はそれを盗み見して覚えたとも、志堅原殿内に伝わる踊りを覚えて持ち帰ったとも言われている。
「伝統芸能保存会は南城市のイベントなどにも出演しています。ヤナカーギーは40歳を過ぎたら厳しい演目です。志堅原には若手も育っていますから、今後も継承していきたいですね」

世界初！ジンベエザメの繁殖を目指して

ジンベエザメ(Rhinocodon typus)は現世では世界最大級の魚として知られています。沖縄美ら海水族館の黒潮水槽では、雄1個体と雌2個体の複数個体を飼育展示しており、優雅に泳ぐ姿が来館者を楽しませています(写真1)。沖縄美ら海水族館が複数個体を同時に飼育しているのはジンベエザメの水槽内繁殖の成功を目指しているからです。ジンベエザメの槽内繁殖は世界的にも成功例は無く、大きな挑戦と位置付けています。



これまでに報告されたジンベエザメの繁殖に関する情報はそれほど多くありません。現在のところ、繁殖様式が卵胎生であることや、一度に300個体程度の胎仔を妊娠することなどが知られています。繁殖を成功させるためにはジンベエザメの成熟年齢や繁殖に適した時期といった基本的な情報が不可欠となりますが、これまでにそれらに関する正確な情報は報告されていません。本来は多くの個体を解剖したりすることでそのような情報を蓄積していく必要があります。しかしながら、ジンベエザメは非常に大型で個体数が少なく、捕獲も困難であり、解剖等の致死的な調査に用いることができません。従って、生きながらの状態のまま、なるべく多くの情報を得る必要があります。そのため、飼育個体の行動や外部形態の変化を注意深く観察しています。またそれだけではなく、飼育員がジンベエザメと泳ぎながら採血を行い(写真2)、得られた血液から生理学的な情報も収集しています。同一個体から継続的に採取できる血液は個体のその時々

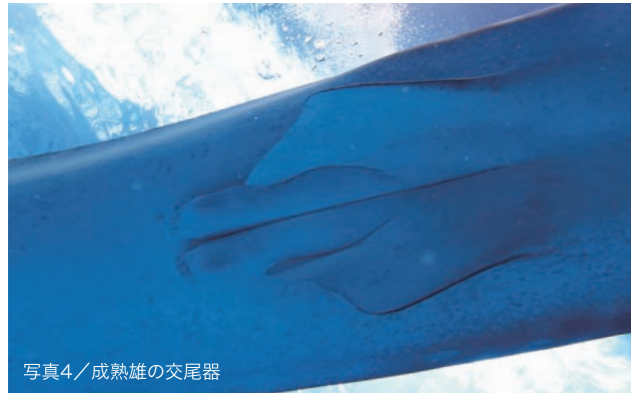
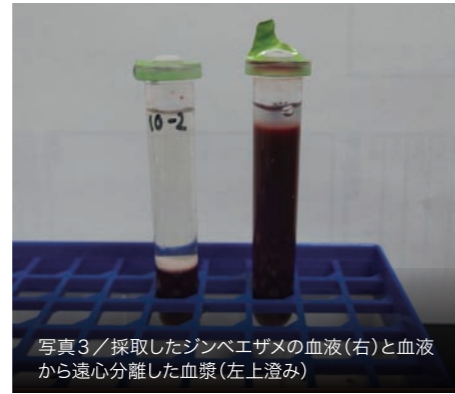


生理状態:生命活動を維持する身体機能のコンディション
 生殖状態:性成熟や交尾・妊娠・出産(産卵)等といった生殖に関わる様々な状態

理状態を把握するための重要なサンプルとなります(写真3)。サメ・エイ類も我々人間と同じように女性ホルモンや男性ホルモンの存在が確認されています。採取した血液から、それらの値を調べることで各個体がどのような生殖状態であるかを知ることができるようになります。実際に、沖縄美ら海水族館で飼育期間中に成熟したと推定される雄のジンベエザメでは、成熟前に比べて男性ホルモンの値が特徴的な変動をみせています。このような情報は今後、雄ジンベエザメの生殖状態を推定する一つの指標になると考えられます。現在は雌のジンベエザメの性ホルモンを定期的に測定し、性成熟のタイミングや繁殖周期、卵の発達状態の把握を試みています。残念ながら、現在飼育中の雌のジンベエザメに成熟の兆候は見られていません。今後も注意深く観察・分析を続け、情報を蓄積していく必要があります。

で誕生したジンベエザメの子どもたちをお披露目できる日が来ることを信じて研究を進めています。

(野津 了)



首里工芸品 Vol.3

くろうるし ぶどう りす ちんきん じきろう
 「黒漆葡萄栗鼠沈金食籠」

【高さ30cm、直径34.5cm】



※参考資料
 くろうるしきつちちようちゆうしつぽうつなぎんきんじきろう
 「黒漆菊花鳥七宝繫沈金食籠」
 (沖縄県指定有形文化財)

今回、紹介する工芸品は、16世紀に作られたと考えられている琉球漆器です。黒漆を塗った漆器の表面に模様を彫り、その溝に漆を擦り込み、金箔を入れ込む「沈金」と呼ばれる技法で「葡萄」や「栗鼠」がのびのびと描かれています。漆器の形態は「食籠」と呼ばれ、祭祀や儀式の時に、食物を入れて供えるために使用されました。

この食籠は、本来、円形二段食籠であったと思われます。現在は、食籠の身上段部分が欠損し、蓋が身下段部分に載っている状態となっています。欠損した身上段部分には、通常、供物を入れるため、破損しやすかった可能性もあります。黒漆の器面に地紋はなく、沈金で全面に葡萄の葉と実が描かれ、蓋の甲の部分にだけ二匹の栗鼠が遊ぶ図案となっています。自由闊達な葡萄の蔓の表現と、沈金の彫りのシンプルさから、琉球漆器の初期の沈金技法を研究するうえで、貴重な資料のひとつと言えます。

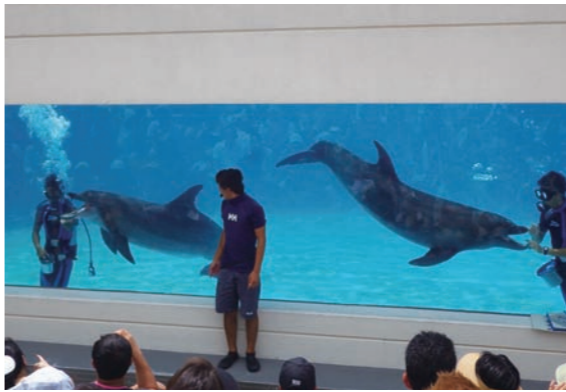
(久場 まゆみ)

※首里城公園南殿二階特別展示室にて、2015年6月下旬まで展示予定

生きものを通して自然環境を考える



写真①餌やり体験(マナティー飼育体験)



写真②イルカの口の中の説明(ダイバーショー)

沖縄美ら島財団では、海洋博公園において、イルカ、マナティー、ウミガメに関する普及啓発活動を行っています。

通常プログラムのイルカショーや給餌解説では、飼育動物の体の特徴や餌の食べ方等の解説を行っています。一方、「イルカふれあい体験」、「各種飼育体験」、「ウミガメ放流会」等のイベントでは、より詳しい解説を行うことや、直接さわれる機会を設けることで、生きものをより身近に感じていただけるように企画しています。また、生息環境の現状についても解説し、自然環境が抱える問題点への興味喚起も図っています。

「ウミガメ放流会」では、仔ガメの回避経路を調査するために、海洋博公園内のウミガメ館生まれの仔ガメ(生後約1年)に標識をつけて放流しています。会場となる砂浜には、解説パネルや体験型展示による学習コーナーを設置し、来場する方々へ、ウミガメの生態について紹介しています。

また、放流後に行うウミガメ体験学習では、参加者がウミガメになり、手で産卵のための穴を掘る体験や、仔ガメが見たビニール袋の大きさは、人の場合だとどれくらい大きくなるのか?(写真⑤)といった体験をしていただいています。これらの体験は、参加者が生きものの目線で自然環境の保全について考えるきっかけになっていると思います。

今後も、飼育展示を行うだけでなく、飼育動物の生物学的知識や彼らを取り巻く環境について、皆様にさらに興味を持っていただけるよう、普及啓発活動を行ってまいります。

(木野将克)



写真③ウミガメの一生を解説(ウミガメ放流会体験学習)



写真④標識を装着した生後約1年の仔ガメを放流(ウミガメ放流会)



写真⑤仔ガメから見たビニール袋の大きさは、人が見た大きさにするどれくらいに見えるかを体験(ウミガメ放流会体験学習)

御城物語 Vol.8

Vol.8

かつて、首里の人々が「御城(うぐしき)」と呼び、敬愛のまなざしで見上げた首里城。首里城とその周辺に関するトリビアを語る歴史エッセイ。

双子の門：右掖門と左掖門

首里城公園には、右掖門と左掖門という、名前に右と左が付いた双子のような名前の門があります。

右掖門は、現在の園路では、北殿北側の出口の階段を下った左側にあります。別名は「寄内御門」と呼ばれ、15世紀頃に創建されたと伝えられています。昭和初期には老朽化のため撤去されました。瑞泉門や漏刻門のように、城郭を櫓で挟んだ部分が通路になっている「櫓門」です。

左掖門は、2014年1月24日に一般公開された。近習詰所から黄金御殿と奥書院の建物下の通路に扉がありそこを指します。別名「クラシンウジョウ」とも呼ばれ、門の構造としては、広福門や奉神門のような「建物付帯型門」です。左掖門は、数年前にドラマ化された「テンペスト」で、主人公が変身する場所として、ドラマティックに描かれています。この左掖門の手前(御庭側)は、「表」の場で、王国の政治が行われる

男の世界。左掖門から「奥」は、「御内原」と呼ばれる国王とその家族が住むプライベートな空間で、男子禁制でした。つまり、女の世界です。現在、この左掖門は、お客様に人気のスポットで、御庭の南殿側から望むことはできませんが、残念ながら通り抜けることはできません。

この双子の門の位置ですが、正殿に向かって右側にあるのが左掖門で、左側にあるのが右掖門です。これは、正殿を中心に考え、正殿から奉神門に向かって立った時、右側に右掖門、左側に左掖門、裏側に御内原となります。

沖縄のお墓においても、お墓の面に向かって右側の角を「ミフィジヤイ(御左)」「フィジヤイ(左)」と呼ぶことと同じ考え方ですね。

門の形は異なりますが、この復元された二つの門に囲まれて正殿や周辺の建物は建っています。(久場まゆみ)



南殿の奥に見えるクラシンウジョウ。奥行きがあって、屋間でも薄暗い。



左掖門(クラシンウジョウ)



右掖門

現在は有料区域からの帰路となっており、右側の城壁には王国時代の「遺構石積」を見ることができる。

第二回 名護青少年の家まつり



「さくら見ウォーク」ではインストラクターと一緒に名護岳の自然を楽しみながらハイキングコースを歩く。

地域のイベントとして、
名護さくら祭りと連動させる。

沖縄美ら島財団が指定管理団体となつている名護青少年の家。利用を青少年に限定せず、広く地域の人に親しまれ、さまざまな団体の活動拠点となるよう、工夫を重ねている。中でも、名護城公園から中心市街地まで市内一帯で開催される「名護さくら祭り」と連動する形で「名護青少年の家まつり」は一大イベント。2015年で第二回目となり、1月31日・2月1日の2日間にわたって開催した。

「沖縄美ら島財団ならではのプログラムを用意するのはもちろん、地域の方々と連携して、さまざまなご協力をいただいているんですよ」と言うのは、名護青少年の家の狩俣浩事務局長。オープニングイベントの司会を名桜大学の学生が務め、財団芸能部による「かぎやで風」で幕開け。地域の保育園児によるエイサーなどのお遊戯、名桜大学生によるラテンダンスが華を添えた。

プログラムは自然体験、クラフト体験、展示、グラウンドゴルフ大会から大浴場無料開放までバラエティに富んだ内容。竹笛づくり、バード

コールづくり、ハイキングコースウォークラリー、火起こし体験などは、普段から青少年の家で開催しているレギュラープログラム。今回の特別メニューとしては、サンゴの型押し染めや、日本宇宙少年団名護分団(YAC)によるロケット打ち上げ式などがあった。また、名護さくら祭りとの連携では、なんぐすく桜見ウォークやナゴランを育てよう(園芸教室プログラム)が開催された。

「名桜大学で学ぶ留学生たちが自国の文化を紹介してくれる『世界の国からこんにちは』は、お子さん連れのお母さんたちにも人気でした。名桜大学生にはボランティア意識の高い学生さんたちが多く、青少年の家でもボランティアのスキルアップ講座を開催しています。今回は教員志望の学生から『子どもとふれあうイベントに参加したい』という要望があり、このような企画になりました」

実際、世界の国からこんにちはコーナーには小学生が詰めかけ、お兄さん・お姉さんたちと触れ合いながら、笑顔で異文化交流を楽しむ様子が多く見受けられた。

子供から大人まで
幅広く多くの人が
楽しめる二日間に！



1:おもちが焼ける様子にも興味津々の子どもたち 2:オープニングイベントではちびっ子たちのかわいいエイサーや獅子舞、お遊戯が披露された 3:火起こし体験は普段なかなか体験できない遊びとあって、みんな真剣 4:発射直前のロケット。宇宙少年団は普段から名護青少年の家を活動の拠点としている 5:サンゴを使った型押し染めは観光客にも好評 6:世界の国からこんにちはのハワイコーナー。「アロハ」をはじめとするハワイ語を習う 7:職員の知恵と努力の結晶であるイラストマップ。ハイキングコースをプリントした手ぬぐいも好評発売中 8:狩俣事務局長 9:財団芸能部によるオープニングアクト「かぎやで風」。沖縄ではめでたい席の座開きに欠かせない演目。赤いハッピー着用の照屋所長自ら踊りを披露

ウォークラリーは、名護岳登山道ハイキングコース上に出題ポイントが設置され、問題に答えていくオリエンテーリング形式。

「土日はハイキングを楽しむために青少年の家を訪れる方も多いため、職員がハイキングコースのイラストマップを作成しました。作成したマップは非常事態に備えて消防署とも共有しています。動植物の専門家と協力して、イラストマップの裏側は名護岳で見られる小動物や昆虫などを解説した動植物観察ガイドになっています。青少年の家で無料配布しているんですが、大好評です。青少年の家には、自販機もトイレもありますし、こういうイベントの時だけでなく、普段から

青少年の家を野外活動の拠点、言わば「自然への入口」として活用してもえたらいいなと思っています」

今年の青少年の家まつりは、第一回目に比べて規模を拡大。名護岳のふもとで開催されているさくら祭りからの流れで参加する人も多く、照屋厚所長自ら送迎バスを運転するなど、「青少年の家へめんそーれ！」というおもてなしのこころを職員総出で実践し、地域色たっぷりのあたたかいイベントとなつていた。

文いいうえぢ



なごアグリパークに「アグリショップしまちゅらら」がオープンします。

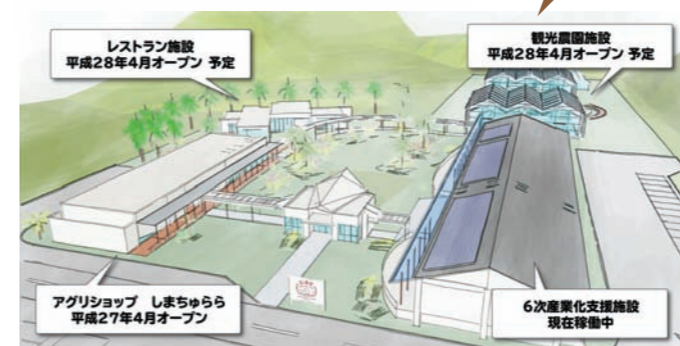
沖縄美ら島財団が、2014年4月に名護市より「なごアグリパーク」の指定管理を受け、6月より加工支援施設の運営を開始していますが、この度2015年4月中旬よりショップをオープン致します。

このショップの建物は、琉球石灰岩を切り出したような斬新なデザインになっており、専用の庭も兼ね備えることで、居心地の良い空間を提供し、ゆったりとした中でショッピングを楽しんで頂けるよう工夫をしています。



なごアグリパークのロゴマークが決定しました。島野菜をモチーフに、親しみやすいデザインに仕上がりました。

ネオパークオキナワの駐車場奥にあります。



アグリショップしまちゅらら
〒905-0012 沖縄県名護市字名護4607-1 TEL:0980-43-6010
○営業時間/10:00~18:00 ○年中無休

ショップでは、なごアグリパークのコンセプトである「健康・美容・長寿」に沿った、名護市を中心としたやんばるで作られた農産加工品などを販売致します。商品に関する情報はかりではなく、生産者の声や情報も掲示することにより、商品の内容や生産者の想いを伝え、お客様が安心・納得して購入できる売り場づくりを目指してまいります。

生産者と消費者の橋渡しの場「アグリショップしまちゅらら」にぜひご期待ください。

みなさん、エコクーポンをご存知ですか？

沖縄美ら島財団では、沖縄県北部地域及び周辺離島で行われる環境保全活動を支援するために「環境保全活動支援エコクーポン事業」を行っています。

一人でも多くの方に自然環境の大切さに気付いてもらえたらという気持ちで、海沿いの清掃活動や赤土防止活動などを行った団体へ特典としてエコクーポン（沖縄美ら海水族館の入館チケット引換券）を発行しています。

平成25年度は、13団体15件の活動（海岸清掃13件・赤土流出防止2件）があり、2000枚を超えるクーポン発行を行いました。平成26年度においても同数程度を見込んでいます。

実際に環境保全活動を行いエコクーポンの発行を受けた参加者からは、「自然環境を住民自らの活動を通して守っていくことの大切さを実感できた」、「海洋を浮遊するごみが生物に及ぼす影響、砂浜に生育する植物についても学ぶことができた」などの感想が聞かれ、活動への参加が環境保全に関する意識の高揚に繋がっています。

ぜひ、環境保全活動に参加したことのある方や興味のある方は、財団HPで本事業の詳細をご覧ください。

環境保全活動支援エコクーポン事業のロゴマークとエコクーポン



海岸清掃活動の様子
(エコクーポン申請者:豊川区婦人会)



「首里城公園 友の会」って？

首里城公園友の会は、首里城が一部開園する少し前の1992年5月に設立されました。首里城復元工事が急ピッチで進められていた中、関係者の間から「首里城公園友の会」を組織化してどうか、との声があがり、首里城復元と言う意義深い事業に県民、国民として関わり、首里城をバックアップすることを第一に、また首里城公園が開園して以後も、支援するため応援団をつくるのはどうかと言うものでした。

博物館や美術館には「友の会」という団体があります。首里城公園も沖縄の歴史・文化をテーマとする「博物館」的な学習の場でもあるため、「友の会」のような支援団体、学習団体が必要ではとのことでした。



イヌマキ育樹祭



展示品解説会



史跡巡回

今号の「スポットライトの向こう側」で運営委員の富山さんが紹介されています。(12ページ)

設立から22年の間、友の会の活動としては、「首里城見学会」、「展示品解説会」、「首里城周辺及び那覇の街めぐり」、「文化講演会」、「史跡巡見(本島・離島・県外・海外等)」、「体験教室」、「イヌマキ育樹祭」などを開催しています。

1993年に、将来の首里城修理の際に使用してもらいたいと始まった国頭村に植樹したイヌマキ(チャージ)の育樹祭や本島内のバスツアー「史跡巡見」などは、大人気の事業になっています。

首里城公園のファンクラブ「首里城公園友の会」へ興味のある方は、お気軽にご連絡をください。沖縄の文化・歴史を共に学びませんか？皆さんの参加をお待ちしています。

ちゅららダブルが品種登録されました。

野生絶滅植物、リュウキュウベンケイを千葉大学との共同研究により品種改良して誕生したちゅららシリーズ。その中でもオレンジ色の八重の花を咲かせる『ちゅららダブル』が品種登録されました。品種登録は植物における特許のようなもので、新しく出来た品種が世の中で認められ、普及する上で無くてはならないものです。品種登録されたことにより、農家が『ちゅららダブル』を生産することが可能となります。みなさんの近くの花屋さんにも並ぶ日も近いと思いますので楽しみにしてくださいね。

また、『ちゅららダブル』の他にも、ピンクやイエローの花を咲かせる仲間も登録申請中であり、来年には登録される予定です。進化を続けるちゅららシリーズに注目です。



国営沖縄記念公園・県営首里城公園 平成27年度から管理運営決定!!

2014年12月17日、内閣府沖縄総合事務局公告の「H27-30国営沖縄記念公園運営維持管理業務」に関して落札決定の発表がされました。また、12月10日には、沖縄県募集の県営都市公園(首里城公園)指定管理候補者選定に関して決定通知を受けました。

この2公園は沖縄美ら島財団の中核となる事業です。過年度の管理運営経費を活かし、より効率よい事業運営、より質の高いサービス、より高い顧客満足度を目指し職員全員で取り組んでまいります。